

夏休みの過ごし方

宜野湾市立普天間第二小学校

1. 夏季休業の意義

- (1) 児童の自主的、創造的な実践活動の機会である。
- (2) 心身の必要な休養と健康保持の生活態度を育成する。
- (3) 区、班、子ども会等との諸行事に積極的に参加させて社会性を育てる。
- (4) 家庭の一員としての自覚を高め、その役割を果たす。
- (5) 学校で経験できない教育活動を体験させる。



2. 夏季休業中の実践指導

(1) 24時間時計の活用

- ① 計画的に「夏休み」を過ごせるよう、学校から配られた24時間時計に、保護者と子どもが相談しながら1日の主なスケジュールを書き入れましょう。
- ② 24時間時計がしっかり守られるよう、保護者は子どもの生活のようすを見守り、励ましましょう。

(2) 起床と朝の活動

- ① 午前6時をめやすに早起きの習慣をつける。
- ② 朝のあいさつを習慣付ける。
- ③ 計画した時刻に起き、自主的に散水や家庭などの清掃をする。
- ④ 寝具の片づけや家庭の仕事を進んで手伝う。

(3) 校外活動について

- ① 朝のラジオ体操に積極的に参加する。
※ラジオ体操には、5分から10分前までに集合場所に着くようにし、あまり早く行かないようにする。(不番者対策)
※友達を声をかけあい、参加し、複数で集合場所に行くようにする。
- ② ラジオ体操後、朝の清掃活動をする。
- ③ 普天間三区、新城区、喜友名区、班、子ども会等の行事や催し物に進んで参加する。



3. 家庭学習について

- (1) 朝・夕の涼しい時間に勉強する。
- (2) 夏休みの宿題や家庭学習(がんばりノート)は、計画的に進める。
がんばりノート年間(10)冊以上をめざし、見通しをもってがんばりノートを進める。
- (3) これまでに習った漢字や算数のプリントをおさらいし、苦手な単元については、繰り返し、復習する。

4. 遊びについて

- (1) 路上遊びはしない。路上での飛び出し等、特に気を付ける。
- (2) ローラーシューズは、校内やスーパーマーケット、路上で使用しない。
- (3) 学校として、携帯電話の校内使用を禁止しています。携帯電話を使ってのチェーンメールによる特定の子への誹謗中傷、インターネット掲示板への書き込み等、「ネットによるいじめ」が社会問題となっているため、保護者と相談し、携帯電話を保持している子も家庭でのルールを決め、目的以外に使用しないよう協力を御願います。
- (4) 自転車の安全な乗り方(安全点検、走行ルール、安全な場所)を良く守る。
- (5) 海、川、プール等へ行くときは、必ず保護者と一緒に行く。
- (6) 外出するときは、「行き先」「用件」「同伴者」「帰宅時刻」を家の人に告げる。
- (7) 午後7時(車のライトがつく頃)以降は、外出しない。
- (8) 夜遊びはしない。(GO家運動の推進:児童生徒を早めに帰宅するようみんなで声かける)
- (9) ゲームセンターやカラオケへは、子供だけでは行かない。
- (10) 花火の遊び方に気を付ける。危険な火遊びはしない。

5. 安全について

忘れないで 自分を守る **普二小っ子「いかのおすし」**

- い**か …知らない人についていかない
の …他人の車にのらない
お …おお声を出す
す …すぐ逃げる
し …何かあったらすぐ知らせる